

札幌南税務連絡協議会会長賞

気づくべき幸せ。

千歳市立富丘中学校 3年 稗畑 美ゆな

私の両親は会社を営んでおり、朝から晩まで私たち家族の為、仕事に励んでいる。

さかのぼること三年前、新型コロナウイルス感染症の流行により、会社の業績が悪化の一途を辿り、会社の存続が危ぶまれた。両親は出口のないトンネルを彷徨い、私たち兄弟は会社が潰れて生活できなくなるのではと不安を抱えていた。

しかし現在、私たちはこれまでと変わらない生活ができている。

会社はコロナウイルスに関連する様々な給付金や貸付を得て、どん底から這い上がることが出来たのだ。

これらは全て税金で賄われている。

税の仕組みに関して全くの無知だった私が税について知り、考えるきっかけとなった。

税金にはたくさんの種類があるということ、国民が安心して生活できるよう至るところのものが税金に支えられていることに感謝の念を抱いた。

働いて得た収入から税金が引かれることを後ろ向きに捉えるのではなく、互いに支えあっているのだと前向きに考えるのが理想だ。

私も近い将来、納税者となる。

税を納めることに負担や不満を持つのではなく、誰かのために行動できることに対して喜びを感じ、快く納め、その税金で誰かの幸福を願える人になりたい。

税金に救われた両親の会社と家族の生活。

この経験は今後の私の人生をよりよいものにしてくれると確信している。

きっと、いや絶対日本の未来は明るい！